

【報道関係各位】

バンクシー & ストリートアーティスト展

BANKSY & STREET ARTISTS

2022

3.12 . SAT ▶ **6.12** . SUN 時代に抗う表現者の声よ響け

佐川美術館では、春季企画展として「バンクシー & ストリートアーティスト展 ～時代に抗う表現者の声よ響け」を開催いたします。

1970年代、ニューヨークのダウントウンを舞台に描かれたグラフィティ(落書き)に起源をもつストリートアート。当時、貧困やベトナム戦争、ギャングの抗争など社会不安の渦巻くなか、若者たちは街中の建物に社会への反発のメッセージを縦横無尽に描きました。人種差別など社会に対する「反抗の文化」と呼ばれるヒップホップ文化において、グラフィティはブレイクダンスやDJなどと共に生み出されたものなのです。一大社会現象となったグラフィティの勢いはとどまることを知らず、やがて世界を席捲することになります。

ストリートアートの申し子・バンクシー。イギリスを拠点に活動する謎多きアーティストは、建物の壁や動物園、ホテルなどあらゆる場所に作品を突如として制作することから、時に「芸術テロリスト」とも称され、今や世界的に注目を集めています。政治的なメッセージ、社会への風刺が含まれたダークユーモアな表現は大きな反響を呼び、多くのメディアに取り上げられ、バンクシーの名前は誰もが知る、今や時代の“ポップアイコン”となりつつあります。

本展ではこれまであまり注目されることのなかったグラフィティ文化の潮流や、ストリートアーティストたちによる様々な表現技法をクローズアップし、バンクシーを入り口にストリートアートの本質に迫ります。



広報
画像 ①

BANKSY 《風船と少女》
2004

展覧会実施概要

- ◆名称：バンクシー & ストリートアーティスト展 ～時代に抗う表現者の声よ響け
- ◆会期：2022年3月12日[土]～6月12日[日]
- ◆開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、4/5～4/8
- ◆入館料：一般¥1,300/高大生¥900(要学生証提示)、中学生以下無料(要保護者同伴)
※障害者手帳をお持ちの方(要提示)、付添者(1名のみ)無料

WEB 事前予約制

「事前WEB予約制」及び「詳細な予約情報はHPをご覧ください。」の2点を記事内に明記ください。

新型コロナウイルス感染状況に応じて、実施概要が変更になる場合がございます。
最新の情報については、必ず佐川美術館ホームページをご確認ください。

バンクシー & ストリートアーティスト展 ～時代に抗う表現者の声よ響け

[主催]佐川美術館 (公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団)
 [後援]滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
 [企画協力]株式会社ホワイトインターナショナル
 [産学連携]専門学校モード学園 グラフィック学科
 [協力]SG ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

The exhibition is curated by Patrizia Cattaneo Moresi, in collaboration with 24 Ore Cultura and Artrust.

■ 展示構成

本展ではバンクシー作品、その他のストリートアーティスト作品と併せて約 100 点を展覧します。

バンクシー以前 : グラフィティの時代

『ニューヨーク・タイムズ紙』に初めてグラフィティが紹介されたことから「ストリートアーティストの父」と称されるタキ 183 (Taki 183) といった 1970 年代のニューヨークを中心に活躍したアーティストを紹介しします。

バンクシーとストリートアートの進化

全米はもちろん、1990 年代にはヨーロッパや日本でも次第に注目を集めるようになったグラフィティ。当時、スプレー缶以外にも様々な画材が用いられるようになり、言わばストリートアートの爛熟期を迎えつつありました。TVBOY や ANDREA RAVO MATTONI など、次世代の担い手となったストリートアーティストを紹介しします。



ANDREA RAVO MATTONI

《Echo of Vermeer》2021

©Artrust - Courtesy of the artist

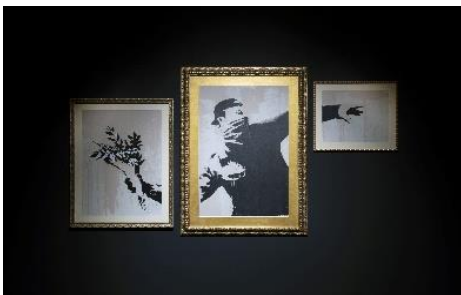
広報
画像 ②

インスピレーションの始まりと根源

ストリートアートが進化を遂げる中、登場したバンクシー。キース・ヘリング (1958~90) やジャン・ミッシェル・バスキア (1960~88)、アンディ・ウォーホル (1928~87) のような独自の路線を切り開いた作家たちを意識し、創作活動を続けました。バンクシーが自らの表現様式を確立させた原点を振り返ります。

バンクシー: 作者、アーティストを超えて

グラフィティ作家としての活動のみならず、テーマパークやイベントの企画、CD ジャケットのデザインを手がけるなど、様々な分野でバンクシーは活躍しています。特に、故郷のイギリス・ブリストルで流行したアメリカのヒップホップやジャズに影響を受けた歌手の音楽活動に深い理解を示しています。グラフィティ作家とはまた異なるバンクシーの一面にスポットを当てます。



広報
画像 ③

BANKSY 《Thrower》
2019

バンクシー: 制度に対する芸術

バンクシー芸術の真髄ともいえる社会や政治に対する風刺、批判を掲げた作品の数々を紹介しします。世界各地で引き起こされた紛争や人種差別に対する想いなど、作品に託されたバンクシーの真のメッセージに迫ります。

みどころ

■話題のバンクシー作品約 60 点以上が勢ぞろい



バンクシーが人気を集める理由の一つとして挙げられるのが、その独特なブラックユーモアのセンスです。作品には当時の政治に対する批判や風刺が込められています。1980年代の終わりから2000年代初頭に引き起こされたパレスチナの紛争をテーマに、反戦に対する思いが込められた《Thrower》やベトナム戦争の写真をもとに、アメリカ現代文化の象徴でもあるミッキーマウスやドナルド・マクドナルドが加えられた《ナパーム弾》など代表的な作品を紹介します。

さらに、ユーモアあふれる動物の姿により、ストリートアーティストを象徴して描いた《Laugh Now》や《Rat》なども紹介します。自らを動物に重ね合わせて表現した遊び心と皮肉に満ちた作品となります。

広報
画像

4

BANKSY 《Laugh Now》 2003

■世界中で活躍するストリートアーティストの作品を一堂に公開

街をキャンバスに自らの想いをありのまま描くストリートアート。壁に直接スプレーを用いて描く基本的な「ペインティング」もあれば、薄い紙、段ボールなどにあらかじめ絵を描き、糊で壁面に貼り付ける「ペーストアップ」という技法を用いる場合もあり、アーティストによって表現技法が異なることもストリートアートならではの醍醐味です。さらにスプレー塗料をはじめ、さまざまな画材が発達した現在、もはやグラフィティの枠を超えて、絵画という二次元の制約を破った「インスタレーション」を得意とするアーティストも登場します。作品を前にその空間へ没入するかのような感覚をお楽しみください。本展ではバンクシー以外にも TVBOY や SWOON など現在も活躍する計 30 名以上のストリートアーティストのバラエティ豊かな作品を展覧します。

広報
画像

5

TVBOY 《VINCENT'S SELFIE》

Pop House Gallery

©TVBOY



■ストリートアートの本質に迫る

バンクシーが、都会に棲みつく“ネズミ”に喩えたストリートアーティスト。人目を忍んで、夜な夜な現れては作品を残して、また姿を隠す、言わば謎に満ちた作家でもあります。

本展ではスプレー塗料のみならず紙や木、鉄など様々な素材を用いて確立した彼ら独自の表現技法を幅広く紹介します。ストリートアートが歩んできた歴史を辿りながら、当時の世相に対してアーティストが作品に込めた想いを明らかにすることで、知られざるストリートアートの実態に迫ります。



RAUL 33 《Onde Atlantidee》 2017

●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データ(広報画像と記載されているもの)をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の作品画像使用申込書(プレゼント用無料観覧券申込付)に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ(<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>)から画像申請も受け付けております。

その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。トリミングなどの画像の加工はご遠慮ください。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用無料観覧券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の無料観覧券を6枚までご提供させていただきます。(無料観覧券のご利用にはWEB予約が必要です。)

ご希望の方は同封の作品画像使用申込書(プレゼント用無料観覧券申込付)に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内:

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由 (約 30 分)
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由 (約 30 分)
- 名神京都東 IC から湖西道路 (真野 IC)・琵琶湖大橋経由 (約 30 分)

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車 (約 35 分)
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車 (約 15 分)

◆連絡先◆

公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団

佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員：藤井 康憲 (ふじい やすのり)

y_fujii010@sagawa-artmuseum.or.jp

作品画像使用申込書 (プレゼント用無料観覧券申込付)

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 2022年 月 日

作品画像の露出・掲載等 ご使用にあたっての注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請された方法、目的以外には使用しないでください。 ● 掲載誌・紙は資料として1部以上お送りくださいますよう、お願い致します。 ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。
使用作品 ※ご希望の作品にチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/> 1. BANKSY 《風船と少女》 2004 <input type="checkbox"/> 2. ANDREA RAVO MATTONI 《Echo of Vermeer》 2021 ©Artrust - Courtesy of the artist <input type="checkbox"/> 3. BANKSY 《Thrower》 2019 <input type="checkbox"/> 4. BANKSY 《Laugh Now》 2003 <input type="checkbox"/> 5. TVBOY 《VINCENT'S SELFIE》 Pop House Gallery ©TvBoy ご希望の作品にチェックを入れてください。 2及び5の作品画像使用の際は、上記キャプションと下記著作権表記をお願いします。 2： 著作権表記 「©Artrust - Courtesy of the artist」 5： 著作権表記 「©TvBoy」 原稿は企画担当者まで必ずお送りください。確認に期日を要するため、お早めをお願い致します。 <div style="text-align: right;">計 _____ 点</div>
媒体名	
貴社名	
ご芳名(ご所属)	
ご連絡先	ご住所:(〒 _____) メールアドレス TEL: _____ FAX: _____
発行(掲出)予定日	_____年 _____月 _____日 _____号
使用形態(○印)	Web サイト / 印刷物(カラー / モノクロ)
無料観覧券希望枚数	読者プレゼント用として、 <u>無料観覧券</u> _____ 枚 ※ 枚数は6枚以内でお願いいたします。ご了承ください。 無料観覧券のご利用にはWEB予約が必要です